

学校名 川口市立上青木中学校
所在地 川口市上青木西3丁目9番地1号
電話 048-265-3318

1 本校の概要

全校生徒 610 名、19 学級の中規模校で今年度開校 70 周年を迎えた。学校教育目標は「心身ともに健康な生徒仲間とともに 心豊かな生徒 考える力を育む生徒」とし、生徒、教職員、保護者、地域がともに力を合わせて充実した学校生活を送れるように日々の教育活動を行っている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組

(2) 実践の概要

読書を通じて広い世界に触れ、様々な考え方や物の見方を知る機会を多く得られるような活動を、図書委員会を中心に行っている。活動内容は以下のとおりである。

ア 朝読書の推進

毎朝 8 時 25 分～8 時 35 分の 10 分間、全校で朝読書を行っている。この活動を行うことで、学校全体が静かに落ち着いた状態で学習に入ることができている。

イ おすすめの本の紹介

- ・ 図書委員によるおすすめの本

給食の放送で、図書委員それぞれがおすすめの本の紹介を行った。図書室にある本の中から選書し、その本のあらすじや読んでみての感想、そしてどんな人に読んでもらいたいかなどを伝えた。また、廊下など様々な場所におすすめの本についてのポスターも掲示した(写真①)。図書室には紹介した本を「図書委員おすすめの本」として特設コーナーを設けた(写真②)。



(写真①)



(写真②)

- ・ 学校図書館司書によるおすすめの本

週 2 日勤務する学校図書館司書が学校行事や季節、時事などに関連する本を紹介した(写真③)。今年は 70

周年記念ということもあり、本校卒業生で装丁家になられた方の本を並べるなど、本に興味をもち、読書のきっかけとなる工夫を行っている(写真④)。



(写真③)



(写真④)

ウ 学級文庫の設置

生徒総会で生徒から要望が出されたこと、また図書室の本を借りるきっかけを作りたいという図書委員会の取組により、今年度から学級文庫を設置した。図書委員が選書し、常時 5 冊から 10 冊程度学級に設置している。2 週間を目安に内容を交換し、様々な本に触れる機会を設けている(写真⑤)。また、学級文庫設置をきっかけに、生徒が読んだ本を大きな掲示物にまとめて廊下に張り出す活動を行った。短冊状の紙に本の題名を書き、それを本棚に見立てた紙に貼り付けていくもので、一目で読んだ本の冊数と題名が分かる。仲間が読んでいる本を知り、手に取るきっかけ作りとしている(写真⑥)。



(写真⑤)



(写真⑥)

3 成果と今後の課題

(1) 成果

本への興味をもつ生徒が増え始めた。朝読書の時間には学級文庫から本を選ぶ生徒も多く、自分の興味関心以外の本に触れる機会を設けられている。

(2) 課題

図書室への道のりが長く、図書室の積極的な活用はまだできていない。各教科の学習との連携や、図書室自体の魅力向上など、今後工夫する必要がある。

(3) おわりに

生徒を中心に、いかに本を手にとってもらうかに重きを置いた活動を行ってきた。図書委員自身が本を読み、その良さを知らせたいという気持ちが強いので、今後もより工夫した活動を行い読書活動の推進を行っていきたい。